

「人に役立つ仕事をしたい、、、」



鈴木 顕正氏

所属 医療法人社団 白桜会
新しらおか病院
卒業校 深谷大里看護専門学校
*2年課程通信制

鈴木氏は、証券会社勤めを経験された後、准看護師として長年、急性期病院でキャリアを積み重ねました。現在、看護師として主任という立場で仕事をしています。将来を見据えて進学の道を選んだ思いを伺いました。

◎企業勤めから看護師になった経緯

高校卒業後、証券会社に勤めて5年目、40代の先輩がリストラされているのを目の当たりにしました。バブルがはじけた時代でしたので、将来の不安定さを感じていました。安定した職業でかつ人の役に立つ仕事を考えたときに、「看護師」への転職を決意しました。当時は看護師と准看護師があることも知らず、違いもわかりませんでした。看護学生として働きながら勉強ができて、お金も出してくれて免許が取れるということで、証券会社を辞めて准看護師の学校に通い、免許を取得しました。

◎看護師への進学を決めたきっかけは

前職場の院長から勧められたことがきっかけです。准看護師として18年くらい勤めていましたので、役付けはなかったのですが、組織からの役割期待があったんだと思います。院長から看護師にならないか、といわれたのがきっかけです。手術室で働いていましたので、外科系の医師からも勧められました。職場の先輩で働きながら進学していた人が近くにいたので、自分もできるのではと思い、進学を決めました。もともと、准看護師では終わりにたくない気持ちがあり、興味のある研修に参加したり、取れる資格は取りたいと思っていました。

◎看護師への道をお勧めしますか

正直お勧めです。通信制で学習できますし、仕事との両立も可能です。自分の時代は准看護師の実務経験が10年必要でしたが、今は7年になっています。放送大学での単位認定試験もコロナ禍を経て、Webでの受験ができるようになり、受けやすくなっています。(養成所指定規則で定められた学校などで取得した授業科目については単位の認定が受けられる制度があります。)また、このご時世、定年後の再就職のことを考えると、准看護師よりも看護師の方がよいと思います。もちろん、給与面でもよくなりました。

◎学費など費用面での苦労はありましたか

通信で働きながらの学習でした。収入もあったので自分はそれほど大変ではありませんでした。通信と全日と学費は違いますし、学校によっても差があると思います。奨学金などの制度もありますので、調べてか

ら受験すると思います。また、厚生労働省が行っている教育訓練給付制度を利用することができ、返済不要の給付だったのでとても助かりました。

◎仕事と学業の両立は

夜勤もやっていましたが、時間をうまく使って両立していました。自分は、毎日2時間と決めて、何があっても勉強する時間にしていました。大変でしたが、2年間は頑張るぞ、という思いでやり切ろうと強い気持ちを持っていました。

◎看護師になって変わったことは

責任がある仕事を任されるようになりました。副主任として、感染対策チームのリーダー的な役割を担うことになりました。特にコロナがありましたので、受け入れについての取り組みも担当しました。やりがいにはありましたが、その時は本当に大変でした。今は主任になって、病棟運営を任されています。だいぶ、副主任に助けられています（笑）。

◎2年間の学校生活はどうでしたか

大変でしたが、つらくはありませんでした。同じ志を持った人が集まっている場所だったので、仲間意識が強かったです。通信でしたが、月に2日くらい登校日があって、仲良くなって励ましあっていました。登校日が楽しみで、一緒に食事しながら仕事のことや課題のことなど話していました。今でもその仲間と会って、ゴルフとかしています。一回り下の人もいて、仕事場の仲間とは違う仲間となっています。

◎国家試験対策はどうしていましたか

通っていた通信制の学校では、授業で提出する課題が事前にまとめてあり、わかりやすくなっています。早めに課題を出して、残りの時間を国家試験対策に費やしました。学校から試験問題の分厚い本ももらい、スマホに対策アプリを入れて、何度も何度も過去問題を解いていました。あれは、孤独な日々でしたね。

◎実習はどうでしたか

見学実習でした。コロナ禍の時は学内実習になっていたようですが、コロナ禍前でしたので楽しんで実習していました。准看護師の経験が長いので、見学と言いながら看護を一緒にさせてもらったりしました。いろいろな病院で実習させてもらいましたので、得意とする感染管理のことや勤務先の施設で役立つことなども持ち帰りました。

◎これから進学を目指す人へのメッセージ

両立は大変です。根をつめすぎないように、時々息抜きをすることが必要です。自分は家族とゴルフに行ったり、スキーをしたりと体を動かすことをしていました。うまく息抜きをしながら頑張ってください。

メッセージ

鈴木さんには大きな期待をしています。一般企業で働いていた経験もあり、本当にしっかりされています。鈴木さんが病棟にいることで空気が変わり、まとまりが出ています。当院の准看護師にとって、役割モデルになってくれています。

当院にきてまだ日が浅いのですが、病棟の管理を任せられる存在です。

新しらおか病院
看護部長 内山一也氏